

# 児童発達支援自己評価表

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月20日

事業所名：スパーク京都左京店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		人数や子ども同士の発達段階や年齢、相性等の組み合わせ等に配慮し、安全かつのびのびと過ごせる様にしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		日々の利用人数に合わせて配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		正午に消毒作業を行う事と施設全体の換気を行っている。最終サービス提供後に清掃と消毒を行っている。加えて、現在は療育の合間にも消毒作業を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		月に一度、事業所全体での目標設定を行い、取り組み方法を相談している。個人目標に関しても半年に一回の面談で設定と振り返りを実施している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度、利用者向けアンケートという形で、意見を集約し改善に繋げている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにも掲載し、その後一定期間事業所内に掲示している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行っていない。 必要に応じて外部評価を取り入れていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スパーク協会本部による研修を行うと共に、事業所内でも研修を行い療育に関する理解を深めている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングの時期に合わせて療育中の様子の共有をし、保護者より聞き取った意向や生活の様子や療育内容を職員で共有し計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		スパーク協会独自のアセスメントツールを用いて、アセスメントを行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		計画作成時に家族の意向を確認すると共に利用者本人の意向も可能な限り確認し、その意向を支援項目と支援内容に反映し、作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々の打ち合わせの中で支援計画を確認した上で、お子様にとってその日優先される課題を目標とし、療育を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援計画に基づきお子様の状態を考慮した上で、療育毎に活動プログラムをチームで相談している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		直近の取り組み内容を確認し、子どもの興味に寄り添う中で、様子を観つつ変化をつけている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別活動に軸足を置きながら、子どもの様子や課題に応じて、他児との関わりが狙える様に作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の全利用者の療育内容について、朝や昼に打ち合わせを行い、支援内容や利用者様に必要なサポートを確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録の記入時や終礼時に気付いた点を全体で共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回の療育後に記録を取り、内容や保護者からのフィードバック等を共有し、場合に応じて支援内容を検討している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		少なくとも6ヶ月に一度モニタリングを行い、保護者とも話をしながら、支援内容に見直しが必要かどうかを判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議が行われる場合は児童発達管理責任者が出席している。また事前に事業所内で会議を行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の了解と依頼の基、必要に応じて連携を取っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の了解と依頼の基、関係機関と情報の共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の依頼があれば、就学時に情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修の機会があった時は可能な限り参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在、そのような機会はないが必要に応じて検討を行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		研修の機会があった時は可能な限り参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		モニタリング時期に合わせた面談に加え、児童や保護者の様子に合わせて面談を設定している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		保護者の状況を鑑みながら、機会があれば療育に参加してもらい、面談を実施し、子どもについての理解を深められる様にしている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に規定や支援内容を説明し、利用者負担については契約時に説明を行っている。	
保護者への説	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画を作成した際には必ず保護者へ説明を行い、同意を得ている。同意が得られない場合は、その場もしくは後日作成をし直し、再度説明している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明 責 任 等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時に様子を尋ねるだけでなく、利用時の様子を観て随時、面談を設定実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、当事業所が中心となつての交流の機会は設けていない。必要に応じて機会が設けられる様に検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		意見があった時に真摯に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		SNSを中心に活動状況を発信しているが、不定期である為、より身近に感じてもらえる様頻度を上げていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		注意を払い、利用スケジュール等は伏字にしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		身振り手振りを用いて可能な限り意思疎通を図ろうとしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを作成し、事業所に保管している。また、玄関設置し、いつでも確認いただけるようにしている。 職員に対しては、定期的に訓練・研修を行い、都度マニュアルを確認している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	消防署の方の指示の基、消防訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬やてんかん、医師からの運動制限に関しては契約時と体験受付時に確認を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事提供は行っていないが、アレルギーに関しては契約時に確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが発生した場合、終礼で共有、もしくは翌日に共有し、事故へ繋がらないよう取り組んでいる。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会を設置し1年に一回事業所内で研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に重要事項として道路への飛び出し等命の危険がある場合の安全管理に関して説明を行っている。また、身体拘束を行う場合は、事前に取り決められた同意書等必要な手続きを行うよう職員に周知している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------